

## いぐさ会 連載③

前回、古文書（こもんじょ）を読むことは『一筋縄ではいきません』と泣き言を書きましたが、実は、大きなとっかかりがあります。それは「御家流（おいえりゅう）」と呼ばれる書体です。江戸時代には、公用の書体に御家流が採用され、寺子屋でも御家流を教えるようになったため、どの文書もほぼ同じきまりで書かれるようになりました。各人のくせも——うまい下手も——ありますが、慣れるとスラ…スラ…？くらいには読めるようになるんです！

今いぐさ会、は細江町中川にある三嶋神社に残された古文書を借りて、解説に取り組んでいます。こういった社寺や農家に伝わる私文書や、町役場などに保存されてきた古文書を「地方文書（じかたもんじょ）」と呼び、当時の社会や経済の動きを知ることができる貴重な資料となっています。

くずし字を活字にするために何度も何度も読み返していると、いつのまにか書き手の心情が伝わってきたり、大きな歴史の流れにつながったりすることがあり、地方文書を読んでいる私たちの醍醐味となっています。

いぐさ会へのご照会は「姫街道と銅鐸の歴史民族資料館」 TEL 053-523-1456 へ  
活動日／第3土曜日 13:30～16:00 上記資料館2階

## ほのぼののちょっといい話

年々、外出するのが面倒になりませんか。

そんな時、新聞・広報はままつなどを開いてみましょう。

浜松には私たちの知らない魅力がいっぱいあります。

◎広報では、知ってトク情報、各施設めぐりコース、市場、天文台、下水処理場、舞阪港めぐりなど。

◎新聞では、各美術館、宝林寺のかやぶき作業、中日新聞都田工場見学など。

以上私が自分の足を使って感じたおすすめのお勧めの場所です……

三ヶ日 井口



## ボランティア連絡協議会から

ボランティア連絡協議会から、今後の活動計画をお知らせいたします。

- (1) 7月5日に計画しましたボラ連研修『戦国古城のあるまち天竜二俣へ』には多くの方のお申し込みを頂きましたが、大変残念ながら天候不順のため中止とさせていただきます。来年度あらためて計画することも考えています。
- (2) 10月3日に常葉大学 浜松キャンパスのご協力をいただき、『第7回会員交流会』が行われました。委細は次号で報告させていただきます。
- (3) 次回『ほのぼの』冬号は来年1月に発行いたします。
- (4) 『第41回静岡県ボランティア研究会』が平成31年2月頃、富士宮市で予定されています……ぜひご参加下さい。新築された富士山世界遺産センターが見られるかも？

## 会員からの情報（ニュース）



私たちのNPO法人「ひずるしい鎮玉」は、静岡県の「美しく品格のある邑」に選んでいただいております。

先日8月24日、台風20号の影響を受け、あいにくの天気でしたが「美しく品格のある邑づくり推進委員会」の皆さんが午後視察にいらっしゃいました。

推進委員会は、研究者、ジャーナリスト、女優、写真家といったさまざまな分野の第一線で活躍されている方々で構成されており、別所ビオトープ、日比平農場などの現場を見ていただいた後、引佐北部小中学校をお借りして意見交換をさせていただきました。

中山間地の現状をつぶさに視察されて、自然環境の保全、過疎・高齢化、他地域との交流などについて、ご指導をいただきました。

委員の皆さんは全国各地さまざまな「邑」をご覧になられている方々ですが、「ひずるしい鎮玉」の活動をとても評価していただき、身に余る光栄でした。同時に、また明日から頑張ろうというエネルギーをいただけたような気がします。

## 会員紹介 連載② 三ヶ日収集ボランティア

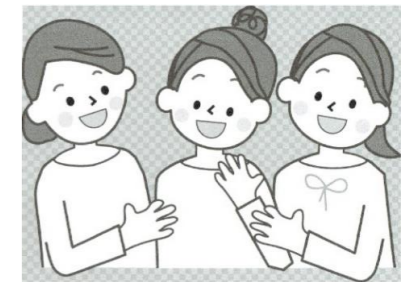
井口 和子さん

本会は切手、ベルマーク、商工会商品券、プルタブを収集し、関係機関に寄付する等の活動を行っているグループです。一か月に一度集まり、気心の知れた者同士楽しい会話をしながら活動しているとのこと。

この会は20年ほど前、三ヶ日町の婦人会本部役員時代の仲間10人ほどでスタートし、途中若干名の交替があったものの、人数の変化はなく今日に至っているそうです。

「私が娘に影響を受けたか、娘が私に影響を受けたかどちらかわからないが、親子共々福祉や社会貢献の分野に興味がある」とおっしゃる井口さん、本会のほか、北区ボランティア連絡協議会で会計の役も担ってくれています。

紹介者 小池孝幸



## 「ほのぼの」編集部からのお願い

皆様の身のまわりの話題、ニュース、情報、会員募集等なんでも結構です。

「ほのぼの」編集部までお寄せください。（社協北地区センター内）

この紙面を、会員の交流と広報の場としてご利用ください。